

ひろば大代

NO.396

大代まちづくり
センター

H24.7.23

男の料理教室 美味しくできました



わたし達コロッケだって作れちゃうんです。

今回は幼稚園のかわいい園児、先生も一緒に、ジャージャー麺とポテトコロッケ、ふわとろトマト卵スープに挑

戦しました。聞いただけでも食欲のそそるメニューで、早速エプロンをしてとりかかりました。

園児もエプロン、三角巾をして手を洗い、野菜を小さな包丁で切ってポテトコロッケを作り始めました。

おじちゃんたちも負けずにジャージャー麺用の野菜の皮をむいたり、玉ねぎ、人参のみじん切りがうまく出来ず、大きくなったりもしましたが、あとでゆで具合も味付けも大変良く出来ていてとてもよかったです。

園児の作ったコロッケも小さくても形よく美味しかったです。トマトのスープは初めて食べましたが、案外美味しいものだと思います、これから畑でたくさん出来るでしょうから、是非作ったり？作ってもらいたい？と思いました。

ジャージャー麺のひき肉のあんは、マーボ豆腐や他のものにも活用したらいいと思いました。

今回はかわいい子どもたちと一緒に料理を楽しむことができましたので、普段小さな子どもたちとふれあうことがないので、感想を話合いながら食べあうひと



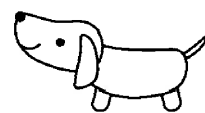
お片づけだって上手に出来るんです



みんなで食べたら美味しいです

ときはとても楽しかったです。次回も参加したいと思いました。

健康ウォーク 川上まで歩きました



6月26日、さわやかな風を感じながらまちづくりセンターを出発しました。ワイワイ、ガヤガヤ話しながら、四日市を通って、柿田の鳴ヶ鼻橋で初めての休憩。「いつ休憩するん?」「まだまだ」と言われ、心待ちにまっていたこの瞬間。みんなで木陰の道路いっぱいに座って、おやつとの交換です。「せわないん?車来るかも?」「来んよ。来たらその時だから」……。

また、一回はやってみたかった道路の端に流れる水路に靴下を脱いで足をつけて、「足湯」ならぬ「足水」です。とても冷たく、幼い頃、川遊びして初めて水に入る時のあの感覚が浮かびました。いい感じ!そしてお腹もおやつでいい感じ!

元気を補給してまた出発です。川上のバスの回転場まで来て、二度目の休憩。またまた道路いっぱい座

っておよつの交換です。「あんまり車は通らんから大丈夫!」なんて自信たっぷりに言っていたのに、突然、車が。「誰?乗ってるのは?」と言いなが大慌てで移動です。だって、道路は車が通るためにもあるんですから、忘れてはいけません。みんなしていると楽しくてついつい、道路いっぱいになって歩いてしまい迷惑をお掛けしました。



一番奥にある岩田さん宅まで行くことになり、頑張って行きました。途中、

山水を飲んだり、色々な話をしながら、あつと言う間にたどり着きました。

岩田さん宅では、持参のおにぎり弁当を食べたり、お土産に花の苗など頂いたり、大変にお世話になり有難うございました。川上に来たのが初めての方もおられ、よかったなと思いました。

帰りは「しんどかったけど楽しかったなあ」と言いながら帰りました。

万歩計を持参した方が19,000歩位あったよ」と教えて下さいました。沢山歩いたので数日間身体が痛くて……。皆さんお疲れ様でした。

「第27回都市と ふるさとを 結ぶ交流会」のご案内

大代高山会

大代高山会では今年もお盆に帰省される皆様をお迎えして「第27回都市とふるさとを結ぶ交流会」を8月13日(月)に開催致します。

町民の皆様、記念Tシャツ、又はゆかたを着て交流会にご参加いただきませうようお願い申し上げます。



十七夜祭（巖島神社）の

由来について



石清水八幡宮宮司 藤田薫郷

巖島神社は、起源は不明ですが、平安初期にはすでに存在し、航海保護神で、平清盛が安芸守在任中より特に崇敬し、平氏の氏神のようになつたそうです。

その宮島の巖島神社より御分霊を受
け御祭神は、素戔鳴尊の御子である狭
依比賣命・多紀理比賣命・多岐都比賣



命の三女神であります。

石清水八幡宮の向う大嶽城山の麓、今西の地に御鎮座され、今より約百年前（明治四十年頃）石清水八幡宮横の御社に合祀されました。

巖島神社は海の保護神ですので、当時は今西の御社付近まで海が来ていたか、湖があつたのではないのでしょうか。

当時の御祭礼は、七月十五日の夜に大勢の人々が手に手に雪洞ほんぼりを持ち神輿を担ぎ、今西の御社から浄土寺下の広場まで神々をお迎えし、十六日に前夜祭を十七日には祭典の後、夕方から御神幸式を行い、神輿は夜通し村内を練り歩き、十八日の夜明けにやつと今西の御社にお帰りになられたそうで、十七日の夜のお祭がたいそう賑やかだったといふことから、巖島神社の例大祭の事を「十七夜」といわれるようになったとのこと。

本来ですと、御鎮座されている八幡宮横の御社で祭典を執り行なうべきですが、拝殿が狭く足場が悪いため現在では、八幡宮の拝殿を仮の齋場とし、お神輿に御霊を遷し執り行なっているところ。



記念写真！はいポーズ！

約半世紀前頃には、お祭りは十六日に前夜祭を十七日に祭典、十八日には引き祭りとして、拝殿では朝から夕方まで初宮参りの子ども達の泣き声でたいそう賑やかでした。そして青年団に依る田植囃子の奉納又、駐在所隣の牛市場では和牛の共進会もあり、両日供大勢の人出で賑わっていました。

小・中学校は十七・十八両日も午前中授業。午後からは小遣いを貰い町へ出かけ、どの露店も子ども達で賑わい、露店も道路の両側にずらりと並び、車を通るたびに露店の屋根を持ち上げ、やつとの思いで車が行き来していました。又、十七・十八日の夜には公会堂

で映画もあり、それも楽しみのひとつでした。

現在では十六日に前夜祭を、十七日に例大祭、引き続き御神幸式、そして田植囃子の奉納は、第三中学校の生徒さん達では人数が足りず、大人の方も加わり執り行っています。少子高齢化の時代、いつまで御神幸式又、田植囃子の奉納ができることか案じている昨今です。

境内にはたくさんの方々の見学の方々が：



町内を神輿が

練り歩きました！

七月十七日、今年も大家の「十七夜」がやってきました。暑い暑い午後3時過ぎから、中学生と保存会の方々による田植囃子の奉納があり、又大人の神輿と小学生と幼稚園の子どもみこしと全部で神輿が三つ練り歩き、子どもたちの元気な声がひびきました。少ない人数ではありますが子どもたちから元気をもらいました。



高山をバックにはい！ポーズ！

8月行事予定

- * * *
- * * *
- * * *
- ▼ 2日 (木) 胃がん検診7時〜
- ▼ 13日 (月) 第27回都市とふるさとを結ぶ交流会
- ▼ 21日 (火) さくらんぼ教室
- ▼ 23日 (木) 連合自治会